

平成 24 年 8 月 13 日

プレスリリース

第19次北西太平洋鯨類捕獲調査の土産品の生産と取り扱いについて

共同船舶乗組員に対する土産・分譲品については、乗組員(全141名)の要望を取りまとめ、イワシクジラで生産を行い、次のとおり配布しました。

- (1) 土産については、乗組員から希望を募り、畝須であれば、一人当たり1本(1本約4kg)、また、赤肉であれば4個(1個約0.8~0.9kg)を配布した。
この結果、配布量は、冷凍畝須については99名に合計約396kg、赤肉については37名に合計約123kgとなった。
- (2) 分譲品については、乗組員から希望を募り、畝須3本、赤肉10個、本皮20個(1個約312g)を一人当たりの上限として販売した。
その結果、畝須については48名に合計約348kg、赤肉については117名に合計約716kg、本皮については102名に合計約338kgの販売となった。
- (3) 実施・管理の透明性を確保するため、共同船舶が船内で一括管理し、下船後、全てとりまとめ、乗組員個人宛に送付した。
- (4) 当該鯨肉代金の精算は、共同船舶が日本鯨類研究所に対し、昨年(18北)の販売価格に基づいて行うこととしている。

問い合わせ先：
共同船舶株式会社
伊藤(電話:03-5547-1930)